

令和4年10月第13回松阪市教育委員会定例会会議録

令和4年10月24日（月）教育委員会室

報告事項

- 報告第38号 令和4年9月議会について
- 報告第39号 松阪市コミュニティセンター条例の制定について
- 報告第40号 第三次松阪市子ども読書活動推進計画の中間見直しについて
- 報告第41号 令和4年度9月児童生徒の問題行動等について
- 報告第42号 松阪市における全国学力・学習状況調査の結果分析について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	長 井	雅 彦
委員	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀
委員	松 江	茂

出席事務局職員

事務局長	刀 根	和 宜
事務局次長	村 田	佳 之
教育総務担当参事兼教育総務課長	尼 子	宗 成
学校教育課長	金 谷	勝 弘
子ども安全・安心担当参事兼学校支援課長	大 辻	結 花
子ども支援研究センター所長	中 西	明 美
生涯学習課長	池 田	博 紀

午後1時30分 開会

○教育長

ただいまから令和4年10月第13回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。
傍聴の申し出はございませんでしたので、ご報告申し上げます。
それでは、事項書に従い進めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。
本日は、議決事項はございません。
報告第38号につきまして、事務局から説明願ひます。

38. 令和4年9月議会について

（報告第38号 教育総務課長から説明）

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等がないようですので、報告第 38 号を承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第 38 号は承認いたしました。

次に、報告第 39 号及び第 40 号につきまして、事務局から説明願います。

39. 松阪市コミュニティセンター条例の制定について

40. 第三次松阪市子ども読書活動推進計画の中間見直しについて

(報告第 39～40 号 生涯学習課長から説明)

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

これは、報告事項という取扱いでよろしかったのでしょうか。

◎事務局

8 月 1 日に中間評価委員会を開催し、9 月 22 日の図書館協議会に報告させていただきましたので、本日は報告事項として承認いただくものと考えております。

○教育長

教育委員会としての計画に関する案件については、教育委員会での議決事項ではないでしょうか。教育総務課と協議しておいてください。

◎事務局

承知いたしました。

◆委員

ここで数値目標に掲げられているのは、市内の小中学生が松阪図書館や嬉野図書館を登録の上で利用する人数ですよね。小中学生がわざわざ図書館まで本を借りに来るというよりは、自分たちが通学する学校の図書室を利用する機会のほうが圧倒的に多いと思います。そういうことから学校図書室を充実させた読書活動を推進するほうが効果的ではないかと考えます。小中学校の図書室には、高校のように司書が配置されていないので、充実化は難しい部分もあるかもしれませんが、いかがでしょうか。

◎事務局

この計画につきましては、松阪図書館や嬉野図書館が中心となりますが、4つの基本的な方針として、①自主的な読書活動の推進、②読書環境の整備・充実、③読書活動の推進体制の整備、④読書活動への理解と関心の普及を掲げて取り組んでいるところです。また、幼小中校のそれぞれの年齢時期における具体的な役割を定めて、それぞれの時期における取組施策を進めております。また、学校図書室に司書がないという部分につきましては、松阪図書館から司書を派遣して対応すること、読書ボランティアの方々の読み聞かせなどの協力もいただきながら、読書活動の活性化を進めております。

◆委員

図書館の貸出冊数が集計しやすいから数値目標として掲げているものと推測しますが、計画内の用語解説によると、「読書活動」の定義には「読み物としてスマートフォンやタブレットで親しむことを含む」とされているので、図書館の貸出冊数以外の数値目標と言いますか、各家庭での読書活動なども調査すべきではないかと思いますが、いかがお考えでしょうか。

◎事務局

家庭での読書活動につきましては、持ち帰って検討させていただきたいと思います。

○教育長

他に、質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、報告第 39 号及び第 40 号を承認したいと思います。いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第 39 号及び第 40 号は承認いたしました。

次に、報告第 41 号及び第 42 号につきまして、事務局から説明願います。

41. 令和 4 年度 9 月児童生徒の問題行動等について

42. 松阪市における全国学力・学習状況調査の結果分析について

(報告第 41～42 号 学校支援課長から説明)

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

◆委員

どの学校も本当に頑張ってやっているといます。先日、学校訪問して見学させていただきましたが、各学校それぞれ特色を打ち出し、その特色を伸ばす取組を実践していただいていると感じました。学力だけが子どもたちの財産というわけではないですが、感じたことを少し。担当する教員の技量によって指導力に差が生じているのではないかと危惧しました。学校全体のレベルアップもよろしいかと思いますが、教員個々のレベルを一定に保つような努力もお願いしておきたいといます。

◎事務局

学校の取組を生で見させていただいているので、もう少しこうやればいいのにと感じられる場面もおありになられたかと思います。その際は現場に同行させていただいている職員にお伝えいただければと思います。担当する教員の技量によって指導力に差が生じているという部分につきましては、多少なりとも生じており、課題であると認識しております。それを補うのは研修ですので、子ども支援研究センターや学校支援課による研修を受講していただくこと、また、未来を切り拓く学力向上タスクフォースにおいて、教科に関わらず、めあての設定方法や振り返りの方法などの授業の進め方を理解していただけるような冊子を作成しておりますので、これを活用していただくなどして、市として横展開を図っていきたいと考えております。

◆委員

勉強不足で申し訳ないのですが、そのタスクフォースとは市独自の取組ですか。それ

と、よむ YOMU ワークシートについてももう少し詳細説明をお願いします。

◎事務局

タスクフォースにつきましては、全国学力・学習状況調査の結果から出てきた課題を解決するために、学校長、授業力向上アドバイザー、教員、指導主事などが集まって、経年的にみられる課題は何なのか、なぜこの部分は毎年課題になるのかなどについて、年 3 回、詳細に分析をしていただくという組織として、「未来を切り拓く学力向上タスクフォース」を設置しております。これは松阪市独自の取組となります。

よむ YOMU ワークシートにつきましては、昨年度から読売新聞と共同研究させていただいておりまして、子どもたちが興味を持つような新聞記事を題材として取り上げて、その記事の中心となる部分を捉えて読み取り、3 問程度の問題を解いていくという教材です。昨年度は希望する学校だけでしたが、今年度からは全ての小中学校で導入させていただいております。最近では家庭で新聞を読む機会が少ない子どもたちも多く、これを活用することで新聞記事を読み、読解力を自然と身に付けることができるようになります。子どもたちの中には、記事の内容にすごく興味を持って自分のタブレット端末を使ってさらに調べたり、図書館に行き本を借りたりして探求していくという姿も見られます。

○教育長

少し補足しますと、子どもたちの読む力、まとめる力が弱いと、10 年ほど前から言われておりましたが、具体的な手立てが見つかりませんでした。私ども読売新聞と接点がありましたので、その辺りを共同研究しようではないかと思いました。読売新聞の社長直属のプロジェクトチームが編成され、問題が作成されました。教員が作る問題と新聞記者が作る問題とでは、物事の捉え方とかまとめ方とか、全く視点が異なります。10 月 31 日には「読解力向上プロジェクト」研修会を開催しますので、ご都合よろしければ是非ご来場ください。

◆委員

私どもの社内を見ても、我々のような年配の世代は紙媒体の新聞を大事に読んでいますが、幼い頃からインターネットに慣れ親しんでいるような若い世代は新聞をほとんど購読していないか、ネット購読しています。若い世代の方々にはいいところもたくさんありますが、読解力や文章を作る能力も低かったりする傾向があると思いますので、その辺りも気を配りながら取組を進めていただきたいと思います。タブレットによる教育活動を積極的に進めていくと同時によむ YOMU ワークシートのような取組も進めていただいていることは非常に素晴らしいことだと思いました。

◆委員

学校訪問に行かせていただく中で、私の経験上、感じたこと、思い出したことを言います。私の子どもが小学校の理科のテストで「地球は回っている」と解答したところ、不正解とされたことがありました。家に帰ってくるなり、惑星の図鑑や DVD を出してきて「僕間違っていないよな。納得がいかない。」って言うんです。別の先生に相談したところ「小学校の段階では太陽が動いていると教えていますが、中学校の段階では地球は自転していると教えるので正解になります。だから、不正解ではありません。」とおっしゃっていました。最終的にはどちらも不正解ではないということで、正解にしていた

だいたんですが、子どもが納得できないと言わなければ不正解のままだったわけで、先生の差とは言いませんが、別の先生であれば最初から正解ではなかったのかなと思ってしまいました。今の子どもたちはタブレットを活用してあらゆる情報が入手できるようになっていて、物知りな子どももいますので、小学生なら不正解、中学生なら正解というのは通用しないと思います。その辺りどうなんだろうと思ってしまいました。

○教育長

どのような設問であったか詳細が分かりませんので断言はできませんが、以前の学習指導要領は最低限ここまで教えればよいというものでした。しかし、現在の学習指導要領では天井がなくなりました。子どもたちの興味によってどこまででも教えてもよいとなっています。ただ、教員の思い込みによって判断してしまうことはあってはならないと思いますし、教員の資質によって子どもたちの教育に差が生じてしまうことも、また問題であると思います。しっかりと研修を受けることで改善もされていくと思いますので、教員には指導力向上に絶えず努力を重ねてほしいと考えています。

他に、質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、報告第 41 号及び第 42 号を承認したいと思います。いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告第 41 号及び第 42 号は承認いたしました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

○教育長

報告事項が終了いたしましたので、「その他」に入ります。

委員の皆様から何かございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

それでは、子ども支援研究センターから GIGA フェスタの実施報告をお願いします。

◎事務局

10 月 8 日に開催した「まつさか GIGA フェスタ」の実施報告 参加者 519 人など

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、例月に比べて少し早いですが、

11 月 11 日金曜日、午後 1 時 30 分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしく
お願いいたします。

○教育長

それでは、これをもちまして、令和 4 年 10 月第 13 回松阪市教育委員会定例会を閉会
いたします。ありがとうございました。

午後 2 時 34 分 閉会